沈められた野望 上

SHIP OF GOLD

T.アレン&N.ポルマー

本城靖久＝訳

講談

沈められた野望(上)

アレン|ポルマー|本城靖久訳
© Nobuhisa Honjo 1989

講談社文庫
定価はカバーに
表示してあります

1989年7月15日第1刷発行

発行者——加藤勝久
発行所——株式会社 講談社
東京都文京区音羽2-12-21 〒112
電話 東京(03)945-1111(大代表)
Printed in Japan

デザイン——菊地信義
製版——豊国印刷株式会社
印刷——豊国印刷株式会社
製本——有限会社中澤製本所

落丁本・乱丁本は小社書籍製作部あてにお送りください。送料は小社負担にてお取替えします。なお、この本の内容についてのお問い合わせは文庫出版部あてにお願いいたします。 (庫)

ISBN4-06-184493-8

江苏工业学院图书馆
藏书章

講談社文庫

沈められた野望(上)

アレン｜ポルマー｜本城靖久 訳

講談社

目次

沈められた野望(上)

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

SHIP OF GOLD
by
Thomas B. Allen and Norman Polmer
Copyright © 1987
by
Thomas B. Allen and Norman Polmer
Japanese language paperback rights arranged
with
Thomas B. Allen and Norman Polmer
c/o
Philip G. Spitzer Literary Agency Inc., New York
through
Tuttle Mori Agency Inc., Tokyo

沈められた野望(上)

●主な登場人物

ハリー・ガニソン　元CIAコンサルタント。

チャーリー・ジェスン　CIA極東担当上級情報官。

石渡千之　大阪丸の引き揚げを計る日本財界〈宗祇会〉の謎の大物。

張敏　ガニソンの愛人。

エドワード・コスグロウヴ　CIAの台湾駐在代表。

スチーヴ・ダイサート　深海探査船〈グローマー〉船長。

福田良雄　内閣情報調査室長。

譚起康　中国南海艦隊司令。

ディヴィッド・G・ポーター　米海軍潜水艦タイガーフィッシュ艦長。

キャサリン　ガニソンの妹。

陳宏　台湾秘密警察北米担当の将軍。実は海賊。

滝子　**直子**　接待用高級コールガール姉妹。

ジョルジィ・スヴジャトフ　ソ連攻撃型原子力潜水艦ペトロヴェルデット艦長。

キース・ソンダース　国家安全保障顧問。

庸忠仁　中国南方艦隊一等操縦士。

根本　石渡の運転手、実は殺し屋。

胡　CIAの運転手、暗殺者。

プロローグ

一九四五年三月三一日の夜、アメリカ海軍の潜水艦〈タイガーフィッシュ〉は、低く立ちこめる霧の中、海上を走っていたが、台湾海峡に向けて北に方向を転じた。香港と台湾の南端とのほぼ中間に達したとき、レーダーに船影が映った。

五週間にわたる航海の間、まだ一発の魚雷も発射していず、ポーター艦長は敵艦を撃沈したくてうずうずしていた。海軍の兵学校を一九三三年に卒業したポーターは、〈タイガーフィッシュ〉が一九四四年三月に就航して以来、ずっと艦長をつとめている。海軍兵学校では勉強にも体育にも目覚ましい成績をおさめ、この戦争においても素晴らしい戦果をあげていた。彼の上官は全員、ポーターのことを提督になる人材と評価していたほどである。

ポーターが〈タイガーフィッシュ〉で出撃するのは、これで四度目になる。最初の出撃では大戦果をあげた。潜水艦がグアム島に帰投したとき、コックの一人は司令塔の両側に小さな星条旗を念入りに六つ描いた。うち五つは日の丸の旗と一緒に。これは撃沈した商船である。そしてもうひとつは日本の海軍旗と一緒に。これは撃沈した駆逐艦である。潜水艦の甲板で催された表彰式では、太平洋艦隊の潜水艦を指揮しているロックウッド海軍中将は、ポーターの胸に十字勲章

を着けたし、真っ白な制服姿で狭い甲板に整列した士官、下士官、水兵も数名表彰された。

二回目の出撃では、商船三隻と小型の補助空母を一隻撃沈し、この戦果に対してポーターは二つ目の十字勲章をもらった。三回目の出撃は、ほかの二隻の潜水艦とチームを組んで出たため、戦果はオイル・タンカー一隻の三分の一だけ。そして今回の出撃はもっとひどく、戦果はゼロ。潜水艦に乗っている八人の士官と七五人の下士官や水兵にとっては、落胆と退屈の毎日だった。

ポーターの心の中では、失望は戦争や悪天候や敵に対する憎しみに変っていった。

レーダーに船影が映ったと知らされると、ポーター艦長は船室を飛び出し、発令所（コントロール・ルーム）に通じる一二段の階段を走り下り、司令塔の鉄梯子（てっぱしご）をよじのぼった。

レーダー員の肩ごしに、小さな緑色がかったスクリーンをのぞき込み、乱反射の中から船をあらわす冷たく光る点を見つけようとした。低い位置にある潜水艦が横揺れするたびに、高い波が電波を反射するため、スクリーンには林が映し出され、木々の間を目標の船が点となって移動している。

一八歳のトロイ・ドッドソンは〈タイガーフィッシュ〉の最も有能なレーダー操作員である。その若い眼はほかの二人の操作員より何秒か早く敵影を緑色に輝くレーダースクリーンに見つけることがよくあった。

ドッドソンはスクリーンに映った光点を指しながら言った。「艦長、高速で走っています。距離はほぼ一万八、〇〇〇メートル、ちょうど真っ正面です」

レーダースクリーンをしばらく見つめたポーターは、もうひとつ梯子を上り、司令塔の一番上にあるブリッジに出て、肉眼では見えない目標のいる方向に眼を向けた。〈タイガーフィッシュ〉はその船を追ってしだいに魚雷攻撃できる距離に近づいていった。

距離がせばまってくると、レーダーからのデータは直接にTDCと呼ばれる魚雷用のコンピューターに送り込まれる。このコンピューターは司令塔の後ろにあったが、そこでは皆から〝ダコタ〟と呼ばれている魚雷長が二人の助手と一緒に原始的なコンピューターに向かっていた。魚雷長は四〇歳で、〈タイガーフィッシュ〉の乗組員の中では最年長であり、一番のベテランである。

攻撃するときには、士官がコンピューターを扱うのが通常のやりかただが、ポーターはこの仕事をダコタにまかせていた。つまりダコタはそれほどのベテランなのだ。

目標の船についての情報は、潜望鏡からの物であれレーダーからの物であれ、このコンピューターに入力された。そうすると、目標船の進路とスピードを推定するため歯車が回転して音を発し、魚雷のための指示を決定する。

「ジム、船尾の魚雷を用意するんだ」ポーターは電話で副長のジェイムス・バレットに指示した。「もし駆逐艦だったら、魚雷がはずれたとき、高速度か潜航で逃げたいからな」司令塔の後のすぐ下では、バレットが〈タイガーフィッシュ〉の船尾にある四本の魚雷発射管の発射準備にただちに取りかかった。

「艦長、コンピューターの答えです」コンピューターのゆっくり廻っていたダイヤルは停止し、

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

発射を示す文字が赤く輝き始めている。

「船尾待機。魚雷発射管の前扉開放」との報告が船尾の魚雷室から数秒後に届いた。それと同時に〈タイガーフィッシュ〉の船尾の発射管におさめられた四つの魚雷に、コンピューターは方向と水深の指示を与えた。

標的船は暗闇と霧の中をいぜん一六ノットあまりの速度で進行中である。レーダーの示す船の速度と大きさからみると、駆逐艦と思われた。進行方向は台湾海峡だ。〈タイガーフィッシュ〉との距離は一五〇〇メートルに縮まった。

一一時ちょうどに潜水艦の船尾は大きく動き、移動中の標的の数百メートル前方に向けられた。

「発射！」とポーター艦長。

バレットが叫んだ。「一番管発射」、そして二秒間隔で続けた。「二番管発射……三番管発射……四番管発射」

「目標到達時間は？」ポーター艦長は尋ねたが、ひじで通話用のスイッチを押さえ、双眼鏡を標的の方向に向けていた。

「距離一二〇〇メートル、二分後です」

艦長は無言だった。

艦長の頭上一メートル五〇のところに立っている見張員の一人が突然叫んだ。「艦長……何か

見えました。船尾のほぼ真っ正面です。白く輝くものが……光ではなくて……直接の光ではなくて何か白く塗られたものが……」

「どこだ？」

「船尾の真っ正面です。あそこだ！　また見えました」

ポーター艦長には何も見えなかった。

艦長の下では、司令塔の不気味な赤い明かりの中で、バレットたちはブリッジの開いたハッチから吹き込んでくる冷たい夜風にふるえていた。

魚雷長の〝ダコタ〟は三〇秒をカウントしていた。三〇秒後に、「命中」と言ったが、この声は〈タイガーフィッシュ〉のオープン・ブリッジには聞えなかった。

船尾から一キロ少しの所で大爆発が起り、光がきらめいた。数秒後にまた爆発。そして闇。

司令塔の中にいる水兵の一人が、「また一隻撃沈だ」と叫び、〈タイガーフィッシュ〉の中ではみな歓声をあげ背中をたたき合っていた。

歓声がおさまると艦長は副長に命じた。「一人か二人生存者を引っぱり上げろ。グアム島の諜報部の連中へのお土産だ」

〈タイガーフィッシュ〉は向きを変え、ゆっくりと爆発の起きた場所に近づいていった。じきに潜水艦は浮漂物に遭遇した。海面はオイルで鈍く輝いていたが、見張員が静かに言った。「艦長、あそこにいます」

最初は二人だけ、それから五、六人、最終的には二ダースほどの人間が水面で動いているのが見えた。〈タイガーフィッシュ〉が人びとのほうに近づくと、日本人（ジャップ）は泳いで遠ざかろうとしたり水中に潜ったりした。だれも潜水艦に近づこうとはしない。

「艦長、乗船したがっている日本人が一人いるようです」と船首の一人がどなった。彼は両腕に銃を抱いていたが、他の二人はトンプソン軽機関銃を持って立っていた。

「結び目の付いたロープを放（ほう）って、上がってくるのをだれかに手伝わせろ」ポーター艦長は命じた。「それから裸にしろ。手りゅう弾を隠していないかチェックするんだ」

日本人の男が〈タイガーフィッシュ〉の舷側に近づくと、波のうねりで何回も船体に打ちつけられた。男の手はオイルでおおわれていて、ロープをつかむことができない。とうとう水兵が一人、軽機関銃を同僚に渡し、上衣と靴を脱ぐとロープをつたわって水中におり、日本人が乗船するのを手伝った。

甲板の上では、男が身に着けていた唯一の衣類であるズボンが取り上げられた。手りゅう弾も何の武器も見つからなかった。靴もシャツもない。ほとんど失神状態の男は前部ハッチに運ばれ、前部魚雷室に押し込まれ、そこで手当を受けた。

八ヵ月前に〈タイガーフィッシュ〉は、アメリカの潜水艦に沈められた別の日本船に乗っていた人びとの間を進んでいた。そのときには死者や死につつあった犠牲者たちは数百人のオーストラリア人とイギリス人の捕虜たちで、日本の捕虜収容所に運ばれる途中だった。この捕虜たち

は、後にクワイ河にかかる橋として知られる物を建造した連中である。〈タイガーフィッシュ〉は一八人の生存者しか見つけられなかった。しかもその中の一人は潜水艦に収容されてから死んだ。

今その捕虜たちのやせほそった身体を思い出しながら、ポーター艦長はまだ元気に泳いで潜水艦から遠ざかろうとしている日本人を見おろしている。浮き沈みしている一群の頭を指し、船首の水兵たちにどなった。「殺せ。あの畜生どもを一人残さず殺すんだ」眼下の甲板にいる水兵はたがいに顔を見合わせたが、赤毛の水兵がまず軽機関銃を上げて射ちはじめた。ほかの者もこれにならった。一〇分後には生死を問わず漂っている人影はなくなり、霧のかかった空中には無煙火薬の匂いが立ちこめた。水兵たちが甲板の上を歩き廻ると、撃ち殻が踏み潰された。撃ち殻は潜水艦の外部甲板を成している鋼板の間を落ちて下にある鋼鉄の気密室に当って乾いた音をたてていた。

マイク・ポールソンは日本人は嫌いだが、捕虜をどう扱わねばならないかは本で知っていた。そこで前部魚雷室で小男の身体からオイルを洗い落し、顔や胸の切り傷に殺菌剤を付けてやり、作業用のズボンと水兵用のシャツを見つけてやった。

艦長が現われたときには、捕虜は魚雷装塡装置の上の寝棚にいたが、まだ意識ははっきりしていない。

「マイク、捕虜はこいつだけだ」と言った艦長は日本人を見つめて顔をしかめ、何か言いかけたが、くびすを返して船尾の艦長室に向かった。撃沈についておきまりの報告書を作成するためである。

総員配置を解いた〈タイガーフィッシュ〉は、パトロール水域の南端に向かった。日本人が意識を完全に回復したので、通信将校であるエドワード・ヘインズ中尉が呼び出された。そこでヘインズ中尉は日本語の熟語集を使って、「どのような船ですか？」「船はどこから来たのですか？」「船はどこに向かっていたのですか？」などといった文章を一時間も練習した。ところが、つっかえながら日本語で質問すると、「英語は話せますよ」と生存者は穏やかに答えた。

中尉の次の質問「どのような船ですか？」――に対して日本人はこう答えた。「捕虜補給船・大阪丸です」

「大変だ。艦長を呼んでくれ」とヘインズ中尉は言った。

1

一九七九年七月二六日（木曜日）の正午すこし前、合衆国海軍のディヴィッド・G・ポーター退役艦長は、ワシントンのダウンタウンにある地下鉄のファラガット・ウエスト駅から地上に出た。この地下鉄の駅は陸海軍クラブから一ブロックのところにある。二ヵ月前ワシントンに引っ越して来て以来、ポーターは木曜日には陸海軍クラブでたいていひとりで昼食をとっていた。それというのも、木曜日には海軍出身の料理人がカレーを作るからである。そしてカレーはポーターに、まず巡洋艦に、次には中国で砲艦に乗っていた乗船勤務の最初の頃を思い出させてくれた。

一番街と一七番街との交差点にある地図専門店のショーウインドーの前でちょっと立ち止まり、次にきびきびした足どりで歩道の縁(ふち)まであゆみ寄り、信号が青に変るのを待っていた。

ポーターは気づかなかったが、バージニア州のアーリントンにある彼のマンションから、背の低いずんぐりした男がずっと後をつけていた。その男はファラガット・ウエスト駅のエスカレーターでは彼の数歩うしろにいたし、今はポーターのすぐ後に立っている。男はポーターや昼食時の人出の中の何人かの男たちと同様、ベージュ色の背広姿だった。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com